

湖北

湖北野鳥センター（長浜市湖北町今西）が主催する第31回愛鳥週間ポスターコンクールの入賞作10点が決まった。市内から計101点の応募があり、金賞に速水小5年、杉野純誠さんの作品「ずっとこのままに」が選ばれた。オオワシが飛んでいる姿を中心に置き、眼下に広がる琵琶湖にコハクチョウなど十数種類の鳥が集まっている様子を描いた。審査員から「オオワシの目線から見た構図が素晴らしい」

しく、細部まで丁寧に描かれており、琵琶湖の自然の全てが詰まっている」と高く評価された。銀賞には小谷小3年、今井琴之さん作「ミミズをねらっているフクロウ」と、小谷こども園の吉川羽純さん作「つばめのたまご」が選ばれた。全応募作品が、金賞を受賞した杉野さんの作品



【長浜通信部・長谷川隆広】

長浜

金賞に速水小5年、杉野さん 愛鳥ポスターコンクール

隣接の琵琶湖水鳥・湿地センター1階で展示されている。8月30日まで。

【長浜通信部・長谷川隆広】

犯罪のない社会に 「明るくする運動」出発式

長浜

更生への援助を呼び掛ける全国的な運動。同保護司会の西橋義仁会長が「誰一人取り残されない社会の構築が必要」などと書かれたメッセージを読み上げ、藤井勇治・長浜市長に伝達した。藤井市長は「犯罪のない明るい長浜、罪を犯した人を立



（左）長浜市長 藤井勇治氏に西橋義仁氏からメッセージを伝える様子

ち直らせる社会づくりに取り組んでいく」とあいさつした。続いて参加者に見送られながら、5台の広報車が街頭啓発に出発した。

【長浜通信部・長谷川隆広】

湖東

彦根

スパイス18種カレー好評 彦根総合高生が考案

彦根総合高校の生徒たちが試作したスパイスたっぷりのレトルトカレー



彦根総合高校（彦根市芹川町、菅井孝明校長）フードクリエイト科の生徒が学習の成果を生かしてレトルトカレーを試作した。スパイス18種を使っていることから10（とう）と8（はち）をもじって「TOPPA（とっぱ）カレー」と命名。学校側は「新型コロナウイルスの時代を突破したいとの願いも込めた」と話している。

同校のホームページを開くと、TOPPAカレーが出てくるまでを動画で見ることができる。香辛料を焦がさないように香りを出す▽肉と野菜の旨味の相乗効果を考える▽ソースに深みを与えるハチミツの使い方▽肉の表面に焼き色を付ける▽トマトは高温で炒めて酸味を飛ばす——などのポイントを紹介している。1個500円で売り出したところ大好評で、第2弾の製品も検討中という。

【彦根通信部・伊藤信司】

石段歩きの支援ロボ 彦根城でレンタル

彦根



歩行支援機をつけて石段を昇り降りする様子を紹介する動画の一場面

国宝・彦根城（彦根市金亀町）周辺の石段などを楽に上ってもらおうと、歩行支援機の貸し出しが始まった。ATOUN社が開発した着るタイプのロボット。本体を腰回りにセットし、両膝に巻いたセンサーを引上げて歩行を

助ける。着用して歩き出すと機械が動きを学習し、自然なサポートをしてくれる。本体のボタンで一時停止や出力調整ができる。上り坂で最大19%、上り階段で同17・8%の支援効果があるという。

10月下旬まで1日3回（午前9時、同11時半、午後2時）貸し出す。レンタル料は3000円（90分）。希望者は彦根城運営管理センターに電話（0749・22・2742）、ファクス（0749・22・2905）、Eメール（info@hikonecastle.com）のいずれかで予約する。普段の歩行距離などを知らせる必要がある。

【彦根通信部・伊藤信司】